

参入に繋がった事例

新規に参入した 46 事例、慣行栽培から転換参入した 5 事例、法人に就職した 1 事例、計 52 事例を紹介する。

新規参入に繋がった事例では、ほとんどの事例で就農前に農家、法人などで研修を受けていた。都道府県などの公的機関の担当者への相談は、新・農業人フェアなど就農相談会や関係機関からの紹介が多かった。参入後も農業改良普及センターなどの公的機関との関係があり、慣行農家と同様の支援を受けていると思われる事例が見られた。民間団体の担当者への相談も新・農業人フェアなどの相談会が多かった。

新規参入に繋がった事例のうち、青年就農給付金などの受給者が 15 事例あり、相談担当者に給付金制度が浸透していることがうかがえる。

転換参入に繋がった事例の参入のきっかけには、有機農業実施者との出会いが 2 件、普及センターの支援が 1 件あった。

新規就農事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
北海道	男	33歳	有	無	会社員	300万円	稲作、畑作、野菜作	田 100a、 畑300a	田 100a、 畑300a

研修内容など 有機農業者での稲作、畑作、野菜作の研修。公的支援あり。

相談のきっかけ 新・農業人フェア。

参入に繋がった理由 研修受入先と研修受入先の近くで農地が空いたこと。

参入後の状況 研修受入先が新規参入に必要なお世話をした。

新規就農事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東北	男	38歳	無	無	不明	不明	野菜作	その他 98a	畑5a

研修内容など 就農地に隣接する町の法人にて、花き栽培を研修。
 相談のきっかけ 就農予定自治体への相談。
 参入に繋がった理由 就農を相談し町を通して住居、農地（山林）の斡旋。
 参入後の状況 就農地である町から就農計画の認定を受け、青年就農給付金（経営開始型）を需給。技術などは研修受入先法人から支援を受けた。

新規就農事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東北	男	32歳	有	無	会社員	不明	野菜作	不明	不明

研修内容など 県内で有機栽培の研修を受けている。就農給付金（準備型）を受給。
 相談のきっかけ 公社相談会で普及センターを紹介され来所。
 参入に繋がった理由 配偶者の給与所得あり。農地の近隣に住宅取得できた。本人の意欲と体力を有すること。研修受入先も新規参入者であったため、参考になる指導を受けられたこと。
 参入後の状況 他事務所管内のため未確認。

新規就農事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	女	44歳	有	無	会社員	不明	野菜作	畑20a	畑20a

研修内容など 有機野菜農家で露地野菜栽培を研修。
 相談のきっかけ 本人が研修受入先を訪問。その後、県の窓口を利用。
 参入に繋がった理由 平成 25 年 7 月から平成 27 年 5 月まで研修。青年就農給付金（準備型）の受給や就農準備について支援を行う。市町村農政課や農業委員会と打ち合わせを行い、地権者の強い推薦により農地を確保し平成 27 年 9 月に就農。
 参入後の状況 参入地域担当の普及指導員が技術面での支援を行う。周辺市町村へ農地拡大の支援を依頼する。

新規就農事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	35歳	有	無	会社員	200万円	野菜作	畑43a	畑43a

研修内容など 有機農家で有機野菜の研修を 1 年間、慣行農法の野菜栽培技術研修を週 1 回程度を 1 年間実施。当所で開催した経営講座に参加。青年就農給付金

(準備型・経営開始型)を受給。

相談のきっかけ

当所での個別相談。

参入に繋がった理由

研修により栽培技術が習得でき、農地・農機具など借入の条件がそろったため。

参入後の状況

有機農家の組織で技術などの支援を行っている。

新規就農事例 6

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	女	39歳	無	4人	パート・アルバイト	不明	畑作	畑54a	畑54a

研修内容など

有機農業実践農家

相談のきっかけ

有機農業実践農家で仕事をしているうちに、有機農業への魅力を感じ就農を決意。青年農業給付金(経営開始型)の相談のため事務所に来所。

参入に繋がった理由

有機農業実践農家で4年間技術の習得を行い、また青年就農給付金を活用したため。

参入後の状況

無記入。

新規就農事例 7

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	48歳	有	1人	自営業	100万円	野菜作	畑60a	畑60a

研修内容など

有機農業実施農家にて研修。野菜30品目程度。新規就農研修施設を利用(市所有、月額2万円、24坪の家)

相談のきっかけ

無記入。

参入に繋がった理由

販売先があること。

参入後の状況

無記入。

新規就農事例 8

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	43歳	有	1人	会社員	400万円	野菜作	畑70a	畑70a

研修内容など

有機農業研修受入先で、野菜の多品目栽培を学ぶ。青年就農給付金(準備型)を受給。

相談のきっかけ

新・農業人フェア。

参入に繋がった理由

研修受入先の技術指導、公的支援の斡旋、農地探しの支援。

参入後の状況

継続的な技術指導、中古農機具の斡旋など。

新規就農事例 9

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	30歳	有	1人	会社員	不明	野菜作	不明	不明

研修内容など

有機農業研修受入先で研修。

相談のきっかけ 県主催の新・農業人フェアにて相談。

参入に繋がった理由 無記入。

参入後の状況 住宅の斡旋。

新規就農事例 10

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
関東	男	不明	無	無	会社員	不明	不明	不明	不明

研修内容など 無記入。

相談のきっかけ 無記入。

参入に繋がった理由 無記入。

参入後の状況 無記入。

新規就農事例 11

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東海	男	35歳	有	無	不明	100万円	野菜作、畑作	田20a、畑50a	田20a、畑50a

研修内容など 有機農業研修受入先で研修。

相談のきっかけ 相談会に参加。

参入に繋がった理由 住宅、農地。

参入後の状況 技術、農地。

新規就農事例 12

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東海	男	37歳	有	2人	会社員	100万円	稲作、畑作	田53a	田53a

研修内容など 青年就農給付金（準備型）認定研修機関で給付金を受給しながら2年間研修した後に就農。米と大豆を有機で栽培し、味噌のワークショップを経営の柱にしている。現在は青年就農給付金（経営開始型）を受給。

相談のきっかけ 農起業支援センターを知り、就農相談を希望して訪問。

参入に繋がった理由 研修機関で熱心に研修し、その熱意から農地を借りることができた。住宅と農地が離れているが、熱意のある姿を見て、就農予定地である市からも支援が得られた。

参入後の状況 熱意と人柄により、近隣の方から中古の機械を譲り受けることができ、投資金額を抑えながら、できる範囲で機械化を進めている。

新規就農事例 13

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東海	男	38歳	有	1人	会社員	500万円	稲作、野菜作	田6a、畑23a、樹園地10a	田6a、畑23a

研修内容など 青年就農給付金（準備型）から開始型へ4月に移行。
 相談のきっかけ 有機農業相談窓口で相談。
 参入に繋がった理由 相談後の地域の連携および研修受入先での受け入れが上手くかみあった。
 参入後の状況 無記入。

新規就農事例 14

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
北陸	男	47歳	有	無	農業従事者	不明	畑作、野菜作	畑100a	畑100a

研修内容など 農業法人に従事しながら技術を取得。
 相談のきっかけ 青年就農給付金（経営開始型）（事例相談者の配偶者が対象）。
 参入に繋がった理由 農地情報の提供。
 参入後の状況 市役所農林課・農業委員会、県地域振興局の担い手担当から農地情報の提供や新規就農者の仲間づくりの支援。

新規就農事例 15

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
北陸	男	40歳	無	無	不明	不明	畑作	不明	不明

研修内容など 現在、研修中。
 相談のきっかけ 無記入。
 参入に繋がった理由 無記入。
 参入後の状況 無記入。

新規就農事例 16

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	30歳	無	無	会社員	不明	野菜作	田13a	田13a

研修内容など 有機農業実施農家にて研修。
 相談のきっかけ 認定就農者への認定を希望され、相談に来られた。
 参入に繋がった理由 研修受入先農家の理解、尽力。地域での受け入れ体制があった。
 参入後の状況 就農計画の作成支援中。

新規就農事例 17

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	34歳	無	1人	パート・アルバイト	180万円	稲作、野菜作	田30a、 その他 25a	田30a、 その他 25a

研修内容など 研修受入先法人にて研修。
 相談のきっかけ ウェブサイト。
 参入に繋がった理由 受入先法人での研修と受入先が運営している出荷グループへの加入。
 参入後の状況 技術、販路、農地。

新規就農事例 18

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	女	36歳	有	2人	会社員	不明	野菜作	田30a、 畑10a	畑5a

研修内容など 基本技術を近隣の先進農家（有機栽培でない）で1年間少量多品目の栽培のための研修を受ける。研修後、親の所有する農地で農薬や化学肥料不使用の有機農業を開始。

相談のきっかけ 普及センター主催の新規就農者向け、栽培などの講習会に参加。その後、営農に関する相談を受付。

参入に繋がった理由 農地や農機具は両親が所有、夫は別の職に就いており、住宅も所有。一方、両親が高齢になり、農地を管理するものが不在であるため、本人が自分の考える有機農業に参入することとなった。

参入後の状況 土づくりや栽培、病虫害防除について相談を継続。

新規就農事例 19

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	女	41歳	無	無	パート・アルバイト	300万円	野菜作	田32a	田4.5a

研修内容など 農の雇用事業。就農スタートアップ支援事業の活用。

相談のきっかけ 無記入。

参入に繋がった理由 研修受入先農家とのマッチングができた。

参入後の状況 研修受入先農家に一部農産物を買って上げてもらい有利販売ができています。

新規就農事例 20

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	43歳	無	無	農業従事者	無万円	野菜作	田36.3a	田36.3a

研修内容など 農業法人にて、ミニトマト、モロヘイヤ、人参、アイスプラント、ニンニク、スナップエンドウなどの栽培方法を学ぶ。公的支援なし。

相談のきっかけ 研修受入先からの紹介。

参入に繋がった理由 研修受入先からの土地を含めたのれんわけ。

参入後の状況 なし。

新規就農事例 21

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	67歳	有	2人	会社員	不明	稲作	田40a、 畑16a	田40a、 畑16a

研修内容など 無記入。

相談のきっかけ 無記入。

参入に繋がった理由 無記入。

参入後の状況 無記入。

新規就農事例 22

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	31歳	有	無	会社員	不明	稲作、野菜作	田40a、畑160a	田40a、畑160a

研修内容など 有機農業実施農家にて水稻、畑作全般を学ぶ。公的支援なし。

相談のきっかけ 知人の紹介。

参入に繋がった理由 研修中に農地を見つけることができた。

参入後の状況 提携による消費者との交流。

新規就農事例 23

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	27歳	不明	無	学生	無万円	野菜作、稲作	田50a	田5a

研修内容など 県立農業大学校にて研修を受ける。

相談のきっかけ 無記入。

参入に繋がった理由 実家に農地があった。

参入後の状況 無記入。

新規就農事例 24

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	30歳	無	無	学生	500万円	稲作、野菜作	田70a	田70a

研修内容など 民間の大学校にて学ぶ。

相談のきっかけ 青年就農給付金（準備型）および祖母が市内に在住。

参入に繋がった理由 自治会長による農地と住宅の紹介。

参入後の状況 成苗播種機の斡旋。農業施設貸与事業。

新規就農事例 25

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	31歳	無	無	無職	100万円	野菜作、稲作、畑作	田90a	田90a

研修内容など 市内の有機農業実践者で1年間研修（新規就農離陸加速モデル推進事業による研修を実施）。

相談のきっかけ 就農支援センターへ連絡があり、相談面接の後研修することが決まった。

参入に繋がった理由 就農意欲があったうえ、研修期間中に市内で農地と住宅が決まった。

参入後の状況 地元の有機農業生産グループに加入し、農地、中古機械、出荷についての情報を入出している。離農した方から、農地と住居を引き継ぐことができた。

新規就農事例 26

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	35歳	有	1人	農業従事者	800万円	畜産	その他 500a	その他 500a

研修内容など 養豚。
 相談のきっかけ 直接。
 参入に繋がった理由 前任者との協議。
 参入後の状況 有機農業実施グループのメンバーとしての付き合い。

新規就農事例 27

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	42歳	無	無	会社員	無万円	畑作	畑50a	畑50a

研修内容など 有機農業研修受入先法人で研修。
 相談のきっかけ 新・農業人フェア。
 参入に繋がった理由 研修内容。
 参入後の状況 農地の紹介。

新規就農事例 28

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	44歳	有	無	会社員	500万円	野菜作	畑79a	畑79a

研修内容など 有機農家に1年間研修。品目は露地野菜を中心とした多品目。
 相談のきっかけ 普及センターに来所。直接対話がきっかけ。
 参入に繋がった理由 研修受け入れ農家が精力的に技術指導。関係機関が情報共有することでリアルタイムな農地情報などを研修者に提供。
 参入後の状況 将来の経営に対する相談対応。

新規就農事例 29

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	30歳	無	無	学生	不明	野菜作、畑作	畑4000a	畑4000a

研修内容など 有機農業研修受入先にて、稲作、露地・ハウス野菜を学ぶ。公的支援はなし。
 相談のきっかけ ウェブサイトより研修受入先の研修に参加。
 参入に繋がった理由 研修中に、同県内での新規就農希望地、数か所の行政や普及センターをまわり、その中から農地、居抜きの農家住宅など、借りれることようになった。資金は自己資金。
 参入後の状況 機械（トラクター）の購入にあたり運搬や道具の貸し出し、種の譲渡など。

新規就農事例 30

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	女	29歳	有	無	会社員	50万円	野菜作、稲作	田20a、畑30a	田20a、畑30a

研修内容など 「県産業体験事業」を活用して、地域内農家のもとで1年間研修。

相談のきっかけ ウェブサイトなど。

参入に繋がった理由 定住地域における有機農業の取り組みの機運。「半農半X支援事業」による就農支援。

参入後の状況 無記入。

新規就農事例 31

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	50歳	有	2人	会社員	300万円	野菜作	田20a	田20a

研修内容など 有機農業実施農家で、ハウレンソウ、トマトなどを研修。2年間の研修期間中に研修費を受給(150万円/年)。

相談のきっかけ 相談会。

参入に繋がった理由 研修制度があったため。

参入後の状況 技術など。

新規就農事例 32

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	33歳	無	無	農業従事者	100万円	野菜作、畑作	畑16a	畑16a

研修内容など 農作業全般について、農業法人で研修。

相談のきっかけ 平成26年度から相談に応じ、就農準備の支援を継続した。

参入に繋がった理由 研修受入先と住宅・農地などが地元の近隣に確保できた。

参入後の状況 栽培指導支援。

新規就農事例 33

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	42歳	有	3人	会社員	500万円	野菜作	畑50a	畑14a

研修内容など 有機農業の研修受入先法人で野菜栽培を学ぶ。青年就農給付金(準備型)を受給。その後、農業法人で学ぶ。

相談のきっかけ 県農業農村担い手育成機構に来所。

参入に繋がった理由 認定新規就農者を目指した申請書作成。

参入後の状況 関係機関が連携して支援。

新規就農事例 34

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	40歳	有	2人	会社員	不明	野菜作	畑50a	畑50a

研修内容など 有機農業の研修受入先で野菜栽培を学ぶ。青年就農給付金（準備型）を受給。

相談のきっかけ 県有機農業研究会への電話。

参入に繋がった理由 研修を修了し技術（栽培・販売）を習得し、自己資金で就農。

参入後の状況 無記入。

新規就農事例 35

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
四国	女	50歳	無	2人	公務員	不明	稲作	田100a	田100a

研修内容など 親の技術の継承。

相談のきっかけ 父親が農業委員であったため。

参入に繋がった理由 父親の経営基盤があったため。

参入後の状況 特になし。

新規就農事例 36

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
四国	男	42歳	無	2人	会社員	100万円	果樹、畑作、稲作	田15a、畑16a、樹園地110a	畑16a

研修内容など 特になし（独学）。

相談のきっかけ 直接来庁。

参入に繋がった理由 親元就農であったため、農地の借り受けが容易であった。

参入後の状況 青年就農給付金（経営開始型）の給付。耕作放棄地の整備に関する補助。

新規就農事例 37

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
四国	男	25歳	有	無	学生	200万円	野菜作	田20a	田20a

研修内容など 有機農業の研修受入先法人で、栽培全般を学ぶ。青年就農給付金（準備型）を受給。その後、有機栽培農家で、ミニトマト・ショウガなどを学ぶ。地域担い手協議会による支援（県新規就農支援事業活用）。

相談のきっかけ 大学在学中にゼミ活動で就農地の集落活動を経験、その中で農家と知り合い就農を目指すこととなる。

参入に繋がった理由 集落の農家が住宅や農地確保などを支援。

参入後の状況 集落の農家が住宅、農地確保などや農家付き合いなどを支援技術については研修受入農家が支援。

新規就農事例 38

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
四国	男	34歳	有	1人	パート・アルバイト	不明	野菜作、果樹	田30a	田30a

研修内容など 有機農業の実施農家にて、野菜栽培の研修。青年就農給付金(準備型)を受給。

相談のきっかけ 無記入。

参入に繋がった理由 青年就農給付金(準備型)を活用しながら研修し、技術を修得した。また、研修後、順調に農地を確保できたため。

参入後の状況 無記入。

新規就農事例 39

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
四国	男	45歳	有	1人	会社員	不明	野菜作	不明	不明

研修内容など 研修受入先法人で、少量多品目栽培を学ぶ。

相談のきっかけ 新・農業人フェア。

参入に繋がった理由 東日本大震災のボランティア活動で、研修受入先の存在を知り、新・農業人フェアを経て研修に入る。1年間の研修ののち、生産者グループとつながりのある同県内で就農する予定。

参入後の状況 無記入。

新規就農事例 40

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州	男	36歳	有	1人	会社員	200万円	畑作、稲作	田60a	田60a

研修内容など 現在、研修受入先農家で研修中(野菜全般)。市新規参入者研修制度を利用。

相談のきっかけ 県新規就農セミナー・相談会。

参入に繋がった理由 研修制度があったため。

参入後の状況 有機 JAS 認定農家が相談に応じている。

新規就農事例 41

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州	女	44歳	有	2人	自営業	100万円	その他	畑35a	畑35a

研修内容など 地域の農業者。

相談のきっかけ 市役所へ直接相談。

参入に繋がった理由 地域の農業者から技術面や販売面について、相談体制があったこと。

参入後の状況 不明。

新規就農事例 42

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己 資金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州	男	40歳	有	2人	オペラ歌手	不明	畑作	畑50a	畑50a

研修内容など 有機農家で露地野菜の栽培を学ぶ。

相談のきっかけ ウェブサイト。

参入に繋がった理由 農地、住宅の確保。

参入後の状況 役場職員、農地の斡旋。

新規就農事例 43

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州	男	38歳	有	無	会社員	100万円	野菜作	畑50a	畑50a

研修内容など 研修受入先法人で野菜栽培を学ぶ。

相談のきっかけ ウェブサイト。

参入に繋がった理由 Uターンであり、地元友人、知人があり、農地の確保がスムーズにできた。

参入後の状況 地元の有機生産グループの一員になり相談している。

新規就農事例 44

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州	女	43歳	有	1人	会社員	100万円	畑作、野菜作	畑74a	不明

研修内容など 地域の先進農家。

相談のきっかけ 市町村への青年就農給付金相談。

参入に繋がった理由 本人の強い意志。

参入後の状況 地域の農家、町役場が支援。

新規就農事例 45

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州	男	29歳	有	無	会社員	100万円	野菜作	畑75a	畑75a

研修内容など 地元有機農家で、有機農業栽培全般について研修。

相談のきっかけ 地元農家、有機農業生産組合への相談。

参入に繋がった理由 県農政普及課（普及センター）や地元有機農家での研修で技術などの習得ができた。青年就農給付金（準備型）などの支援策があった。地元有機農業の指導農業士がいた。

参入後の状況 市役所などの公的機関が農地などを斡旋。地域有機農家の相談支援。JA部会組織活動への誘導。

新規就農事例 46

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
九州	男	31歳	有	1人	農業従事者	100万円	野菜作	畑300a	畑100a

研修内容など 有機農業の実施農家で研修。
 相談のきっかけ 市役所、普及センターに有機農業の情報、堆肥づくりについて相談。
 参入に繋がった理由 本人に強い意志があったため。
 参入後の状況 地域の農業者と栽培について情報交換を行っている。

転換参入事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
東北	男	60歳	有	無	自営業	不明	稲作	田300a	田47a

研修内容など 無記入。
 相談のきっかけ 無記入。
 参入に繋がった理由 無記入。
 参入後の状況 無記入。

転換参入事例 2

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
近畿	男	35歳	有	1人	農業従事者	250万円	稲作	田200a	田200a

研修内容など 有機農業者から水稻栽培技術を学んでいる。青年就農給付金（開始型）を受給。
 相談のきっかけ 農家の紹介で普及センターに来所。
 参入に繋がった理由 普及センター主催の有機農業講座で先進的な有機農業者と出会い、技術を学ぶとともに農業機械の融通や農地の紹介などを受けられるようになった。
 参入後の状況 定期的に普及センター担当が相談に応じている。

転換参入事例 3

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	男	32歳	無	無	農業従事者	不明	稲作、畜産	田10a	不明

研修内容など 独学。
 相談のきっかけ 直接来所。
 参入に繋がった理由 本人の意欲。
 参入後の状況 なし。

転換参入事例 4

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほか	前職	自己資金	参入後の農業形態	全農地面積	有機面積
中国	女	78歳	有	無	不明	不明	野菜作	畑10a	畑10a

研修内容など 県普及センター普及部。
 相談のきっかけ 基礎講座への参加。
 参入に繋がった理由 理念に共鳴。
 参入後の状況 技術。

転換参入事例 5

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
九州	男	53歳	有	5人	会社員	250万円	野菜作	畑40a	畑20a

研修内容など 有機農業を行っている農家へ自ら研修。
 相談のきっかけ 病害虫診断や土壌分析の依頼。
 参入に繋がった理由 近くに有機農業を実践している農家があり、自ら技術を学べる環境にあ
 った。
 参入後の状況 無記入。

農業法人への就職事例 1

地域	性別	年齢	配偶者	子供ほ か	前職	自己資 金	参入後の 農業形態	全農地 面積	有機 面積
四国	男	39歳	無	無	会社員	100万円	野菜作、畑作	畑100a	畑50a

研修内容など 有機農業の研修受入先法人で6か月研修（求職者支援訓練）。コマツナ・
 ホウレンソウ・ナス・オクラ・キュウリ・ジャガイモなどの栽培を学ぶ。
 同時に、堆肥・アミン酸肥料・ミネラル肥料を使った土づくり・太陽熱養
 生処理なども学ぶ。
 相談のきっかけ 求職者支援訓練にハローワークを通じて応募してきた。
 参入に繋がった理由 求職者支援訓練のカリキュラムの中にある企業実習を通じて、就職先農
 業法人におためし雇用をしてもらった。
 参入後の状況 就職先農業法人と同じ有機農業技術を研修で教えていたので、就職後も
 即戦力として活躍中。